



令和6年度 豊田市「大学・高専発 研究提案」

豊田スタジアムでの 名古屋グランパス観戦を核とした 豊田市のスポーツツーリズム推進



中京大学



中京大学大学院 伊藤研究室

博士後期課程1年 太田 明李

教 授 伊藤 央二

博士後期課程2年 ソウ イ

はじめに



本報告書は、「令和6年度豊田市大学・高専発研究提案」にて実施致しました「豊田スタジアムでの名古屋グランパス観戦を核とした豊田市のスポーツツーリズム推進」の研究結果についてまとめたものです。このような貴重な研究の機会をいただきましたこと感謝申し上げます。研究室一同、研究目的達成のために全力を尽くして参りました。本研究が、豊田市のスポーツツーリズム発展の一助となれば幸いです。

目次

1.	研究の概要	2
2.	調査の概要	6
3.	調査結果	9
4.	研究紹介・成果還元	27
5.	今後の展望	33
6.	引用文献	36
7.	付録資料	39

1. 研究の概要

1. 研究の概要

研究背景



第4次豊田市生涯スポーツプラン（豊田市，2022）では、施策の柱2「スポーツを『楽しむ』風土の醸成」において、「**地域の活性化に効果的なスポーツツーリズムの取組の推進**」が盛り込まれた。モータースポーツ大会をはじめとする大規模スポーツ大会の誘致を行い、スポーツ大会参加者やイベント観戦者を市内宿泊に繋げるなどの必要性が明示された。具体的な指標は以下の通りである。

経済波及効果

Jリーグ名古屋グランパスの公式戦における市内消費額

11,055円／人 ↑

まちなかの賑わい創出

大規模スポーツイベントの開催時におけるまちなかの歩行者通行量

242,522人／日 ↑

施策の柱2「スポーツを『楽しむ』風土の醸成」では、「**豊田スタジアム、スカイホール豊田を生かした『見る』スポーツの推進**」にも取り組まれている。

特に、**豊田スタジアム**では具体的な目標指標が示されており、右のように大会数や観客数を伸ばす方向性が目指されている。

豊田スタジアム

大会数 **14件**

観客数 **498,096人** ↑



また、「豊田市観光実践計画2021-2024」（豊田市，2021）では、豊田市の主要施設の観光客の推移において、**豊田スタジアム**が2012年から2019年まで1位を記録している。コロナ禍で豊田スタジアムへの訪問客は減少したものの、徐々に回復傾向にある。

したがって、豊田市のスポーツツーリズム推進においては**以下の3つの要素**がカギとなる。

1

豊田スタジアムでの名古屋グランパス観戦におけるスポーツツーリストの増加

2

名古屋グランパス観戦を通じた豊田スタジアムラリージャパン観戦の促進

3

豊田スタジアム訪問者の豊田市内での観光消費額の増加

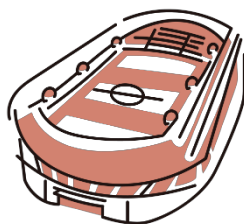
研究アプローチ



本研究では、名古屋市、豊田市、みよし市を中心に愛知県全県をホームタウンとする名古屋グランパス（以下、グランパス）に焦点を当てる。グランパスのホームスタジアムは豊田スタジアムであり、2024シーズンではJ1リーグ、YBCルヴァンアップ、天皇杯を合わせた22試合で、合計580,628人の観戦者を惹きつけた（名古屋グランパス, n.d.a）。豊田スタジアムでのグランパス観戦では、観戦者を以下の2つのタイプに分けることができる。

ホームファン

グランパスを応援する観戦者。観戦者の多くがホームファンであり、そのほとんどがホームタウンである愛知県に居住している。



豊田スタジアム

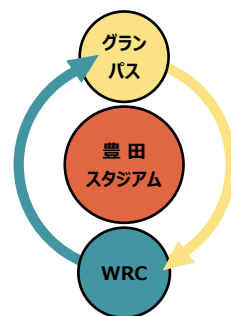
アウェイファン

対戦相手チームを応援する観戦者。多くが相手チームのホームタウンに居住し、長距離移動や宿泊を伴って観戦を行う。



スポーツツーリズムは、「一定の期間生活圏から離れ、独自のルール、優れた身体能力に基づく競争、遊び戯れるという特徴を持つスポーツの要素を含む旅行」（Higham & Hinch, 2018, p.23）と定義されている。豊田スタジアムでのグランパス観戦をスポーツツーリズムの視点から捉えた場合、アウェイファンは豊田市のスポーツツーリストとして重要な存在となる。また、アウェイファンは試合観戦前後に豊田市内・市外で観光を行う可能性が高く、このような観戦・観光行動をまとめて「**アウェイツーリズム**」と呼ぶ。アウェイツーリズムはスポーツ庁によって推進されているスポーツツーリズムのひとつであり、中長期的な地域の活性化に貢献するものとして期待されている（スポーツ庁・経済産業省, 2023）。そのため、アウェイツーリズムの視点から豊田市のスポーツツーリズムを促進させるためには、いかにして**アウェイファンを増加させ、豊田市内に宿泊させ、そして試合観戦前後に豊田市内での観光へと誘導させる**かが重要な課題となる。本研究では、アウェイファンがホームファンに対して抱く心理的感情（感情連帯）に加え、アウェイファンの観戦前後の観光行動を明らかにする。

また、先行研究では、過去に訪問した経験のある観光地において、再訪問意図が高くなることが報告されている（Moore & Graefe, 1994）。つまり、豊田スタジアムに会場したアウェイファンは、今後の豊田スタジアムへの再訪問の可能性が高いことが考えられる。豊田市では、今後のスポーツツーリズムの中核としてラリージャパン（以下、WRC）を位置づけている。アウェイファンはWRC集客に向けたターゲットとしても考えられるため、本研究ではアウェイファンとWRCの関係性についても精査する。



アプローチ1.....



豊田スタジアムに訪れるアウェイファンの行動分析

近年、Jリーグでは多くのスポーツツーリストを惹きつけるイベントとして「**THE国立DAY**」を開催している（Jリーグ, n.d.）。通常はホーム＆アウェイ方式で行われる試合を、国立競技場でのセントラル方式で開催する戦略である。グランパスが2023シーズンに国立競技場で開催した試合では、当時の国立最高観戦者数である57,058人を記録した（名古屋グランパス, n.d.b）。セントラル開催では、対戦する両チームのホームタウンから訪れるファンや、関東圏に在住するファンなど、多様なファン層が集う可能性が考えられる。特に、グランパスが国立競技場で試合を行う場合、グランパスファンは以下の2つのタイプに分けることができる。

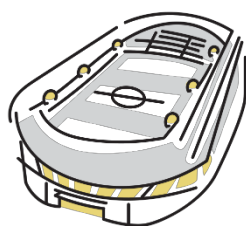


THE 国立DAY

特別な場所で、特別な興奮を。

ホームタウン在住ファン

ホームタウンやその周辺に在住するグランパスのファン。長距離移動や宿泊を伴って国立競技場で観戦を行う。



国立競技場

関東在住ファン

関東圏に在住するグランパスのファン。豊田スタジアムでの試合観戦は難しいが、国立競技場はアクセスしやすい。

ホームタウン在住ファンは、普段は豊田スタジアムで試合観戦を行うファンであり、愛知県から新幹線、バス、自家用車等で国立競技場へと訪れる。また、1泊以上の宿泊をし、試合観戦前後には関東圏で観光を行う可能性が高い。そのため、**ホームタウン在住ファンの関東圏でのスポーツツーリズム行動を理解**することで、豊田市におけるサッカーファンのスポーツツーリズム行動に応用させることができる。また、関東在住ファンはグランパスの重要なステークホルダーである。愛知県出身者であったり、好きな選手がグランパスに所属していたりすることからファンになった場合が多い。関東圏に在住していることから豊田スタジアムに来場する頻度は少ないが、このような**関東在住ファンを定期的に豊田スタジアムへ呼び込む**ことも豊田市のスポーツツーリズム推進には求められる。

さらに、近年注目を集めるスポーツツーリズムとして、スタジアムの歴史的遺産を活用した「**ヘリテージスポーツツーリズム**」が挙げられる（Higham & Hinch, 2018）。国立競技場は「サッカーの聖地」と称されるように、サッカーにまつわる歴史や文化が蓄積されており、このような国立競技場でスポーツイベントを開催することはまさにヘリテージスポーツツーリズムである。本研究では、グランパスファンが国立競技場のヘリテージに対してどれほどの感情を抱き、国立競技場に対してどれほど愛着を抱いているかについても精査する。特に、歴史ある国立競技場での本物の体験（真正性）に対する観戦者の評価に着目する。これらの知見から、独自の歴史的価値を持つ豊田スタジアムにおけるヘリテージスポーツツーリズムの可能性についても触れていく。

アプローチ2.....



国立競技場に訪れるグランパスファンの 行動分析

2. 調査の概要

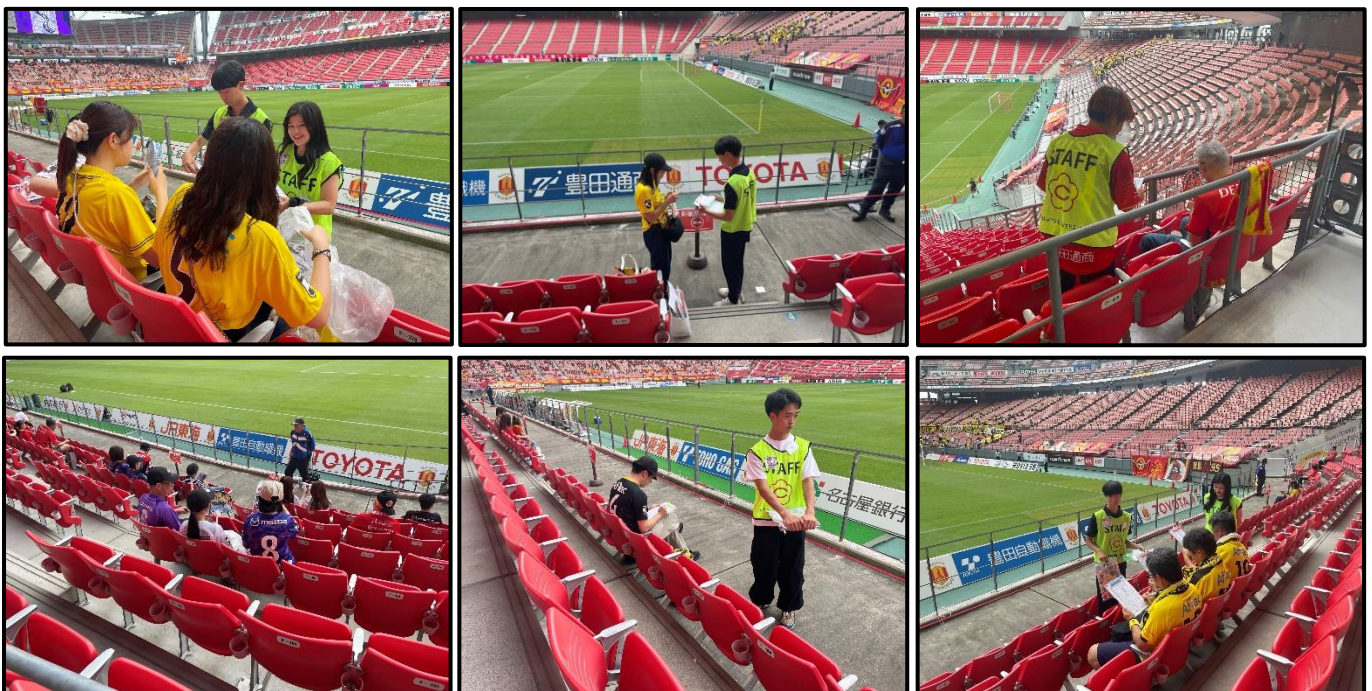
2. 調査の概要



豊田市観光チラシの配布
で観光宣伝活動を実施

アプローチ1 豊田スタジアムのアウェイファン

- 調査日時：2024年7月14日（日） vs. 柏レイソル（観戦者数：31,961人）
2024年8月17日（土） vs. サンフレッチェ広島（観戦者数：38,219人）
- 調査時間：スタジアム開場～試合開始10分前
- 調査方法：直接配布直接回収法による質問紙調査（調査員各7名）
- 調査対象：ゴール裏、VIPルームを除くすべての座席にいる18歳以上のアウェイファン※1
- 質問項目：
 - ▶ 個人属性（年齢、性別、応援するチーム、居住地、宿泊日数、宿泊場所、アウェイ観戦経験、豊田スタジアムでのアウェイ観戦回数、座席種別、同伴者、交通手段）
 - ▶ アウェイファンがホームファンに対して抱く感情連帯（e.g., Woosnam et al., 2009）※2
 - ▶ 来シーズンの豊田スタジアムでのアウェイ戦および各クラブのホームスタジアムでのグランパス戦の観戦意図（Koo et al., 2014）※2
 - ▶ アウェイ観戦における観戦・観光志向（Ito, 2020）※2
 - ▶ WRCの認知と観戦意図※2
 - ▶ 観戦前後の豊田市内外での観光行動
- 回収数：柏レイソル**84部**、サンフレッチェ広島**188部**
- 有効回答：柏レイソル**83部**、サンフレッチェ広島**182部**（白紙回答と18歳未満の回答を除いた数）



※1 調査当時のグランパスの成績や柏レイソルファンの過激な行動が予想されたため、グランパスと協議の結果、ゴール裏での調査を断念

※2 いずれも7段階リッカート尺度（全くそう思わない～非常にそう思う）を使用

アプローチ2 国立競技場のグランパスファン

- 調査日時：2024年9月17日（土） vs. FC東京（観戦者数：55,896人）
- 調査時間：スタジアム開場～試合開始10分前
- 調査方法：直接配布直接回収法による質問紙調査（調査員17名）
- 調査対象：ビジター席（ゴール裏）の座席およびコンコースにいる18歳以上のグランパスファン※1
- 質問項目：▶個人属性（年齢、性別、応援するチーム、居住地、宿泊日数、スタジアムでの観戦経験、国立での観戦回数、同伴者、交通手段）
 - ▶国立競技場の真正性（Kolar & Zabkar, 2010）※2
 - ▶国立競技場への愛着（Yoshida et al., 2021）※2
 - ▶国立競技場のロイヤリティ（Kolar & Zabkar, 2010）※2
 - ▶国立競技場観戦における観戦・観光志向（Ito, 2020）※2
 - ▶WRCの認知と観戦意図※2
 - ▶観戦前後の関東圏での観光行動
- 回収数：304部
- 有効回答：300部（白紙回答と18歳未満の回答を除いた数）



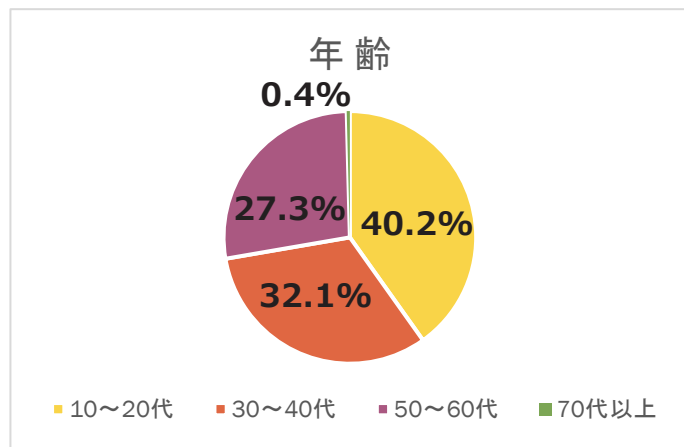
※1 試合の主催者であるFC東京と国立競技場との協議の結果、豊田市観光チラシの配布を断念

※2 いずれも7段階リッカート尺度（全くそう思わない～非常にそう思う）を使用

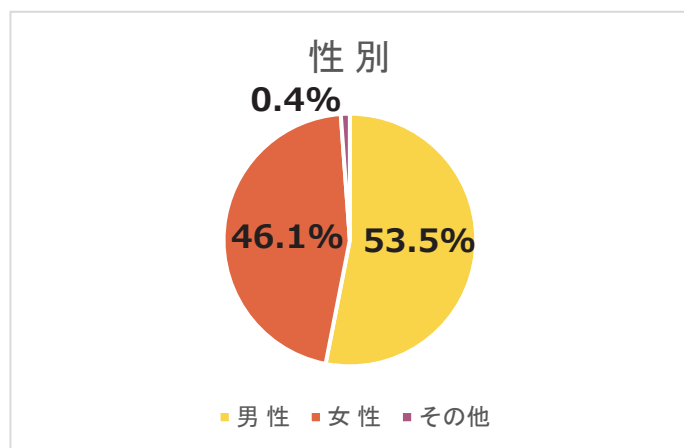
3. 調査結果

3. 調査結果

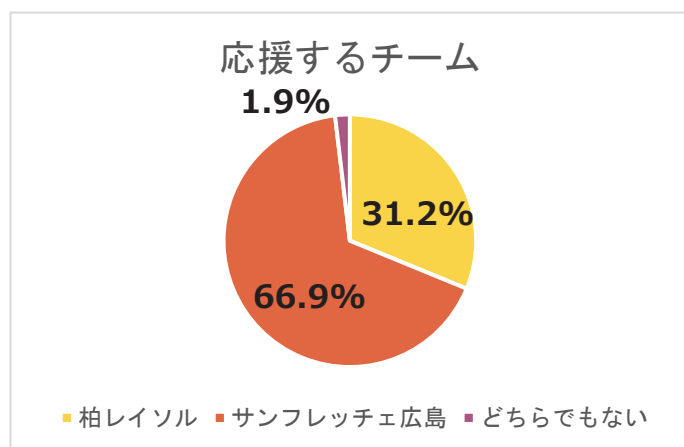
アプローチ1 豊田スタジアムのアウェイファン 〈個人属性〉



- 年齢は、10～20代が40.2%と最も多く、次いで30～40代が32.1%、50～60代が27.3%、70代以上が0.4%であった
- **10～20代の若い世代が最も多い**ことがうかがえる

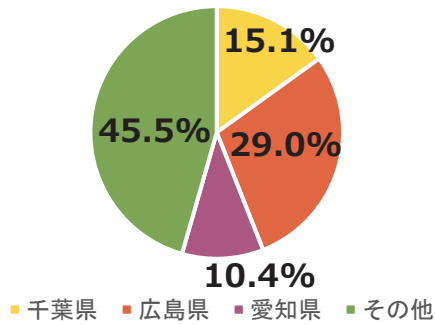


- 性別は、男性が53.5%、女性が46.1%、その他が0.4%であった
- **男性の方が女性よりもやや多い**ことがうかがえる



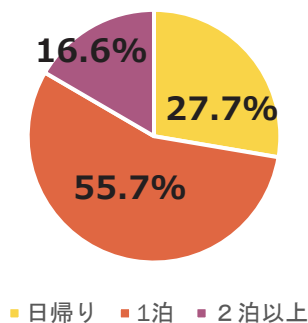
- 応援するチームは、有効回答数（柏レイソル83部、サンフレッチェ広島182部）を反映するように、柏レイソルが31.2%、サンフレッチェ広島が66.9%、どちらのチームも応援しない中立的な観戦者が1.9%であった
- **サンフレッチェ広島のファンが6割以上を占める**データであることがうかがえる

居住地



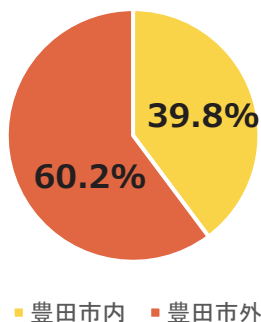
- 居住地は、柏レイソルのホームタウンである千葉県が15.1%、サンフレッチェ広島ホームタウンである広島県が29.0%、愛知県が10.4%、その他が45.5%であった
- その他の内訳としては、東京都が8.1%、大阪府が6.2%、埼玉県が5.4%、茨城県・神奈川県・岐阜県がそれぞれ2.7%となっており、**合計23都道府県から豊田スタジアムに訪れていた**

宿泊日数



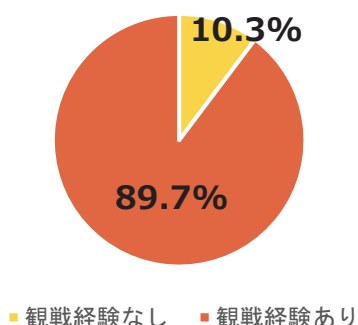
- 宿泊日数は、1泊が55.7%と最も多く、次いで日帰りが27.7%、2泊以上が16.6%であった
- **7割以上のアウェイファンは宿泊を伴う一方、約3割は日帰りで帰宅することがうかがえる**

宿泊場所（宿泊者の内訳）



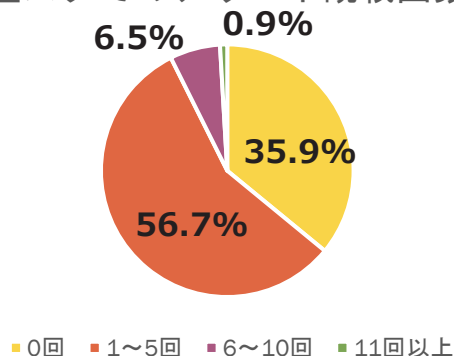
- 宿泊者の宿泊場所としては、豊田市内が39.8%であり、豊田市外が60.2%であった
- **約4割のアウェイファンは豊田市内の宿泊施設を利用することがうかがえる**

アウェイ観戦経験



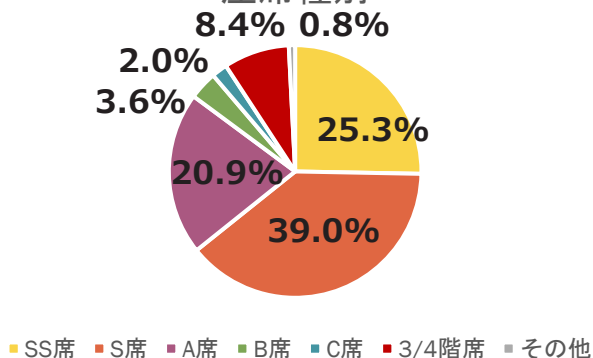
- 今シーズンのアウェイ観戦経験としては、観戦経験のないアウェイファンが10.3%、観戦経験のあるアウェイファンが89.7%であった
- **約9割のアウェイファンは今シーズンのアウェイ観戦経験がある一方、約1割のアウェイファンは今回の豊田スタジアムでの試合が今シーズン初のアウェイ観戦であった**

豊スタでのアウェイ観戦回数



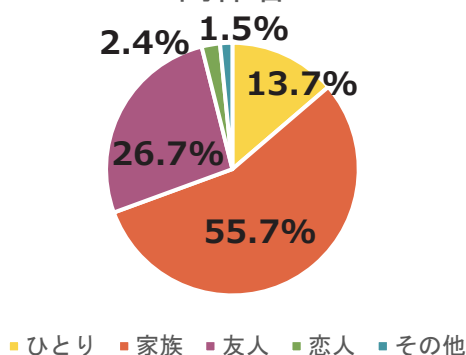
- 過去の豊田スタジアムでのアウェイ観戦回数は、1～5回が56.7%と最も多く、次いで0回が35.9%、6～10回が6.5%、11回以上が0.9%であった
- **半数以上のアウェイファンが豊田スタジアム観戦のリピーター**であることがうかがえる
- 約3割のアウェイファンは今回が豊田スタジアム初来場であった

座席種別



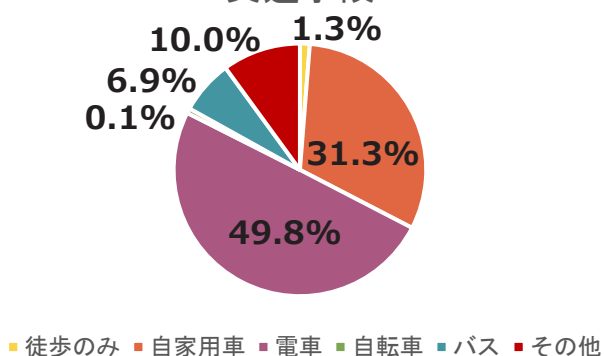
- 座席種別は、S席が39.0%と最も多く、次いでSS席が25.3%、A席が20.9%、3/4階席が8.4%、B席が3.6%、C席が2.0%、その他が0.8%であった
- アウェイファンは、S席、SS席、A席といった**比較的値段の高い座席**のチケットを購入していることがうかがえる

同伴者



- 同伴者は、家族が55.7%と最も多く、次いで友人が26.7%、ひとりが13.7%、恋人が2.4%であった
- ひとりでの観戦よりも、**同伴者を伴って豊田スタジアムを訪れるアウェイファンが多い**ことがうかがえる

交通手段



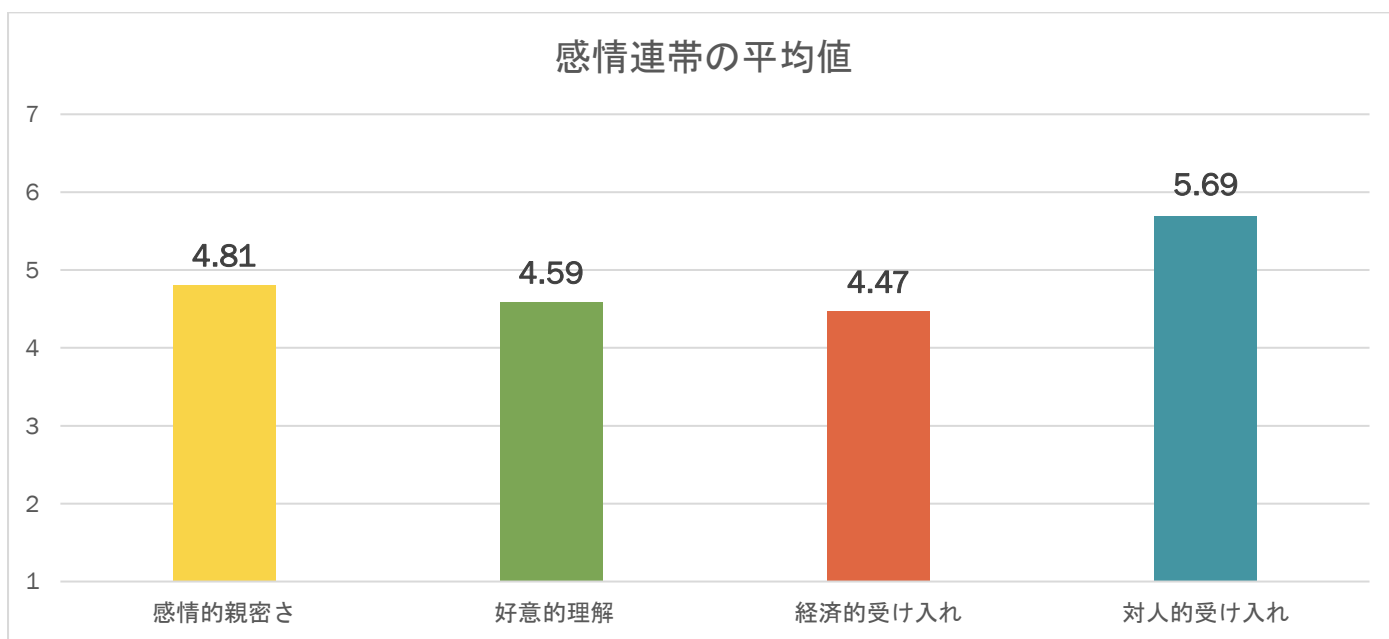
- 交通手段は、電車が49.8%と最も多く、次いで自家用車が31.3%、その他が10.0%、バスが6.9%、自転車が0.1%であった
- **公共交通機関を利用するアウェイファンが5割以上を占める**一方、約3割のアウェイファンは乗り合わせなどで自家用車を利用している

※複数回答であるため、合計値は100%を超える

〈アウェイファンがホームファンに対して抱く心理的感情（感情連帯）〉

感情連帯 質問項目一覧

因 子	項 目
感情的親密さ	1. 豊田スタジアムで名古屋ファンと友好的な関係を築きたい 2. 豊田スタジアムで名古屋ファンと交流することは楽しい 3. 豊田スタジアムでの名古屋ファンとの交流は有益なものである
好意的理解	1. 豊田スタジアムにいる名古屋ファンを好意的に感じる 2. 豊田スタジアムにいる名古屋ファンと多くの共通点を持っている
経済的受け入れ	1. 私たち（アウェイファン）が豊田スタジアムで観戦することにより生まれる利益が、名古屋ファンに評価されていると感じる 2. 私たち（アウェイファン）の地域経済への貢献が名古屋ファンに評価されていると感じる
対人的受け入れ	1. アウェイファンとして歓迎されることを嬉しく思う 2. 豊田スタジアムで名古屋ファンをフェアに扱っている

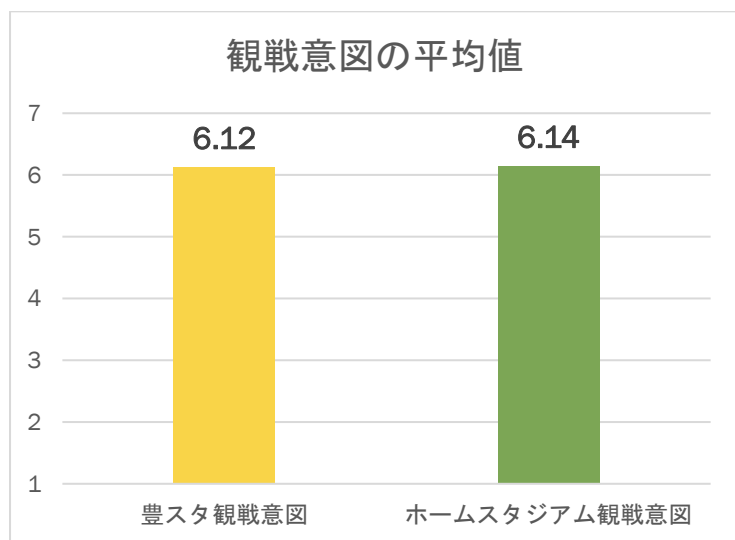


- 対人的受け入れの平均値は5.69と最も高く、次いで感情的親密さが4.81、好意的理解が4.59、経済的受け入れが4.47であった
- 豊田スタジアムに訪れるアウェイファンは、**グランパスファンからの歓迎やフェアな扱い**から高い心理的結びつきを感じている
- 経済的受け入れは平均値が最も低く、自分たち（アウェイファン）の観戦行動がホームタウンの地域に与える経済的影響はグランパスファンには評価されていないと感じる傾向にある

〈来シーズンの豊田スタジアムでのアウェイ戦および各クラブのホームスタジアムでのグランパス戦の観戦意図〉

観戦意図 質問項目一覧

因 子	項 目
豊田スタジアム観戦意図	来シーズン、豊スタで柏レイソル／サンフレッチェ広島戦を再び観戦したい
ホームスタジアム観戦意図	来シーズン、柏レイソル／サンフレッチェ広島のスタジアムでグランパス戦を観戦したい

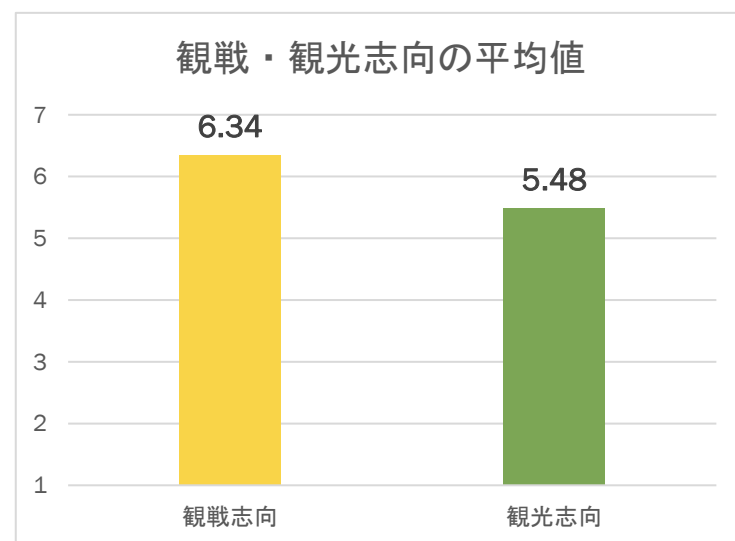


- 豊田スタジアムでの来シーズンの観戦意図の平均値は6.12であり、各ホームスタジアムでのグランパス戦の観戦意図の平均値は6.14である
- 各クラブのホームスタジアムでのグランパス戦に対する観戦意図と同じくらい、**豊田スタジアムでのアウェイ観戦に対する観戦意図を持つことがうかがえる**

〈アウェイ観戦における観戦・観光志向〉

観戦・観光志向 質問項目一覧

因 子	項 目
観戦志向	柏レイソル／サンフレッチェ広島を応援するためにアウェイ観戦を行う
観光志向	アウェイ戦開催地での観光を楽しむためにアウェイ観戦を行う

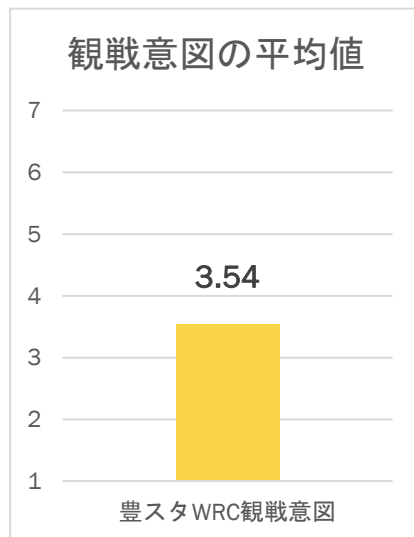
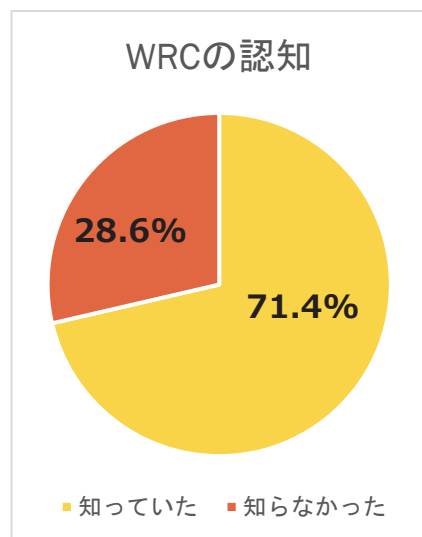


- 観戦志向の平均値は6.34であり、観光志向の平均値は5.48である
- 観戦志向が高いことから、**豊田スタジアムでのアウェイ観戦が主な愛知訪問の目的であることがうかがえる**
- 観光志向も平均値が5.00を超えており、豊田スタジアムでのアウェイ観戦だけではなく**豊田市内外での観光を楽しむ志向があることがうかがえる**

〈WRCの認知と観戦意図〉

WRCの認知と観戦意図 質問項目一覧

因 子	項 目
WRCの認知	豊田スタジアムでラリージャパン2024が開催されることを知っていた（はい or いいえ）
WRCの観戦意図	豊田スタジアムでラリージャパン2024を観戦したい



- WRC開催について、71.4%の観戦者は認知していたが、28.6%の観戦者は認知していなかった
- WRCの観戦意図の平均値は3.54であり、来シーズンの豊田スタジアムでの**アウェイ観戦意図（平均値6.12）**と比べて非常に低いことがうかがえる

〈観戦前後の豊田市内外での観光行動〉

豊田市内



カフェ道楽



豊田市博物館



豊田市美術館



豊田市駅で食事

- 豊田市内での観光行動としては、豊田市駅での食事が最も多かった
- 特に、ひつまぶし、みそかつ、きしめんを豊田市駅で楽しむ
- 自然資源が多い豊田市ではあるが、アウェイファンの観光行動としては食事や博物館／美術館見学などの**カジュアルな観光**が人気

.....

豊田市外



名古屋/伏見駅で食事



熱田神宮



徳川園



名古屋城



大須商店街



パナレリンドーム（野球観戦）



オアシス21



ドルフィンズアリーナ（大相撲）



八事駅 味仙



名古屋国際展示場（音楽ライブ）



LEGOLAND JAPAN



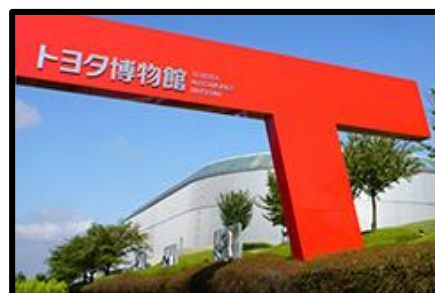
ジブリパーク



豊川稲荷



東海オンエア 聖地巡礼



トヨタ博物館



岡崎城



知立神社



長良川競技場（FC岐阜）

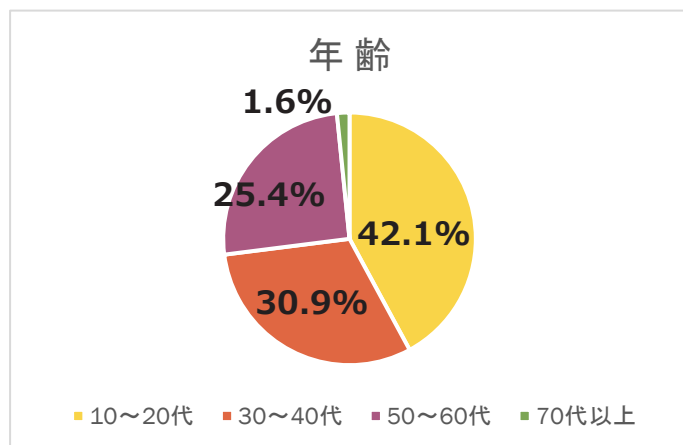


伊勢神宮

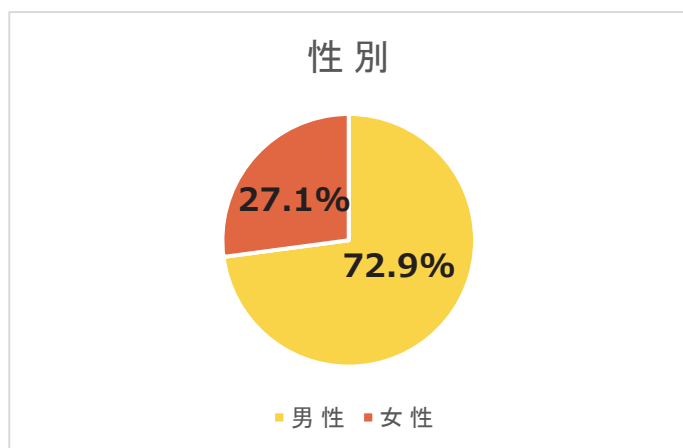
- 名古屋市内での食事や、大須商店街での食べ歩きを楽しむ
- 城郭、神社、庭園などの**文化資源の観光**を行う
- 野球、大相撲、サッカーなどの**スポーツ観戦を追加で行う**
ダブルでアウェイ観戦を行う（柏レイソル応援→ヤクルトスワローズ応援）
- テーマパーク訪問やアイドルの音楽ライブ参加を行う女性が多い
- 岡崎観光の多くが**東海オンエアの聖地巡礼**を行う

アプローチ2 国立競技場のグランパスファン

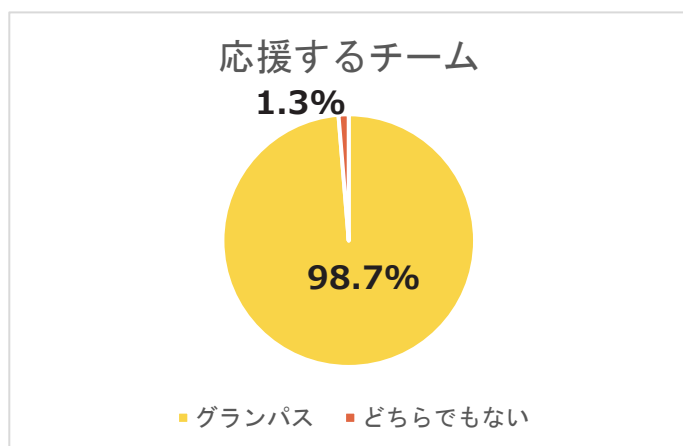
〈個人属性〉



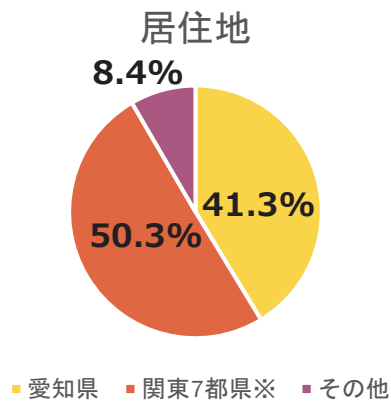
- 年齢は、10～20代が42.1%と最も多く、次いで30～40代が30.9%、50～60代が25.4%、70代以上が1.6%であった
- **10～20代の若い世代のファン**が国立競技場の試合観戦においても多いことがうかがえる



- 性別は、男性が72.9%、女性が27.1%であった（その他は0.00%）
- 豊田スタジアムのアウェイファンの性別の結果とは異なり、**男性が女性よりも非常に多い**ことがうかがえる

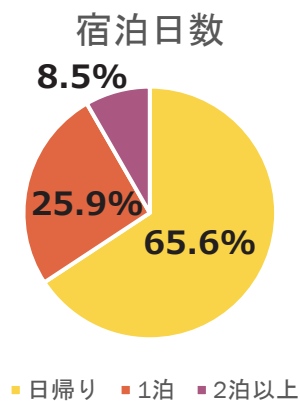


- 応援するチームは、グランパスが98.7%であったが、どちらでもない中立的な観戦者が1.3%を占めた
- ビジター席（ゴール裏）の座席およびコーンコースでの調査であったため、ほとんどの観戦者がグランパスを応援するファンであった

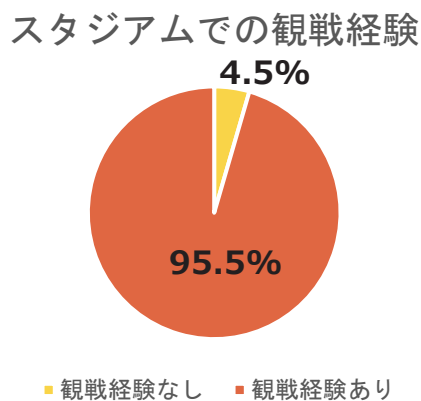


- 居住地は、関東7都県が50.3%と最も多く、次いでホームタウンである愛知県が41.3%、その他が8.4%であった
- **関東地域に在住するグランパスファンが5割以上を占める**ことが明らかとなった

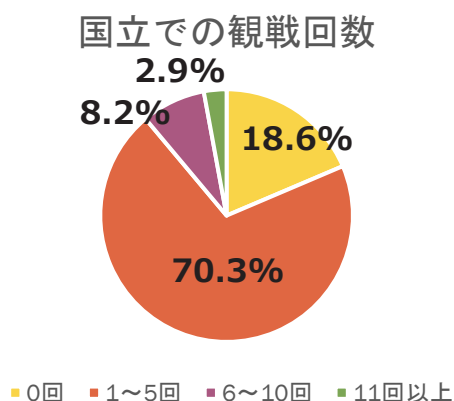
※東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県



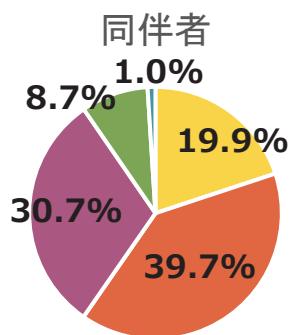
- 宿泊日数は、日帰りが65.6%と最も多く、次いで1泊が25.9%、2泊以上が8.5%であった
- 日帰りが多い要因として、半数以上のグランパスファンが関東地域に在住していることが考えられる
- **愛知県から訪れるグランパスファンは宿泊を伴うことがうかがえる**



- スタジアムでの観戦経験は、観戦経験がないグランパスファンが4.5%、観戦経験があるグランパスファンが95.5%であった
- **ほとんどのグランパスファンがスタジアムでの観戦経験がある**一方、4.5%のグランパスファンは初めてのスタジアムでのサッカー観戦であった

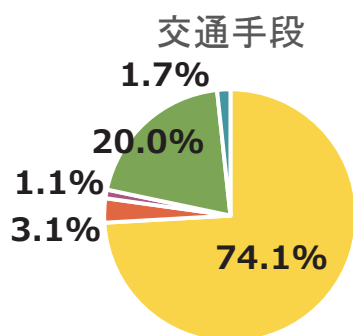


- 過去の国立での観戦回数は、1～5回が70.3%と最も多く、次いで0回が18.6%、6～10回が8.2%、11回以上が2.9%であった
- **約8割のグランパスファンが国立競技場のリピーターであるのに対し、約2割のグランパスファンは初めての国立競技場観戦であった**



■ ひひとり ■ 家族 ■ 友人 ■ 恋人 ■ その他

- 同伴者は、家族が39.7%と最も多く、次いで友人が30.7%、ひとりが19.9%、恋人が8.7%、その他が1.0%であった
- 家族や友人といった同伴者を伴う観戦者が多い
- 豊田スタジアムのアウェイファンよりも、**ひとりで来場するグランパスファンの割合が高い**



■ 電車 ■ バス ■ 飛行機 ■ 自家用車 ■ その他

- 交通手段は、電車が74.1%と最も多く、次いで自家用車が20.0%、バスが3.1%、その他が1.7%、飛行機が1.1%であった
- 国立競技場はアクセスがしやすく、**公共交通機関を利用するグランパスファンがほとんどである**

〈国立競技場の真正性〉

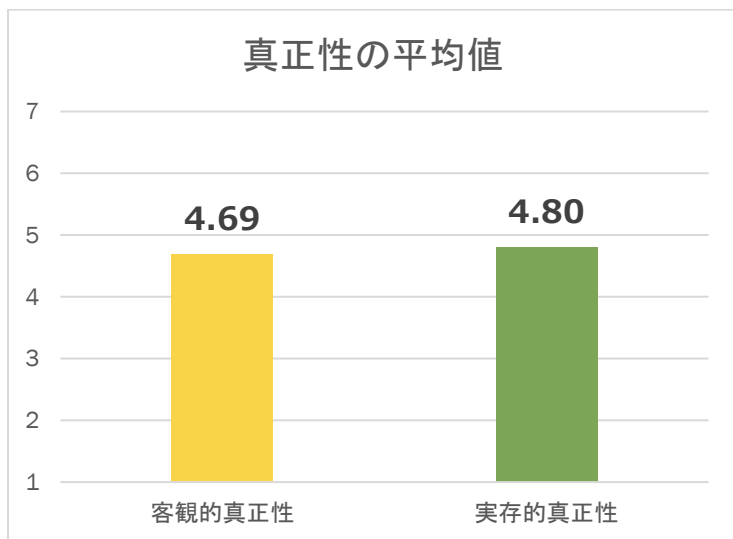
真正性：観光対象物が「本物」であり、観光目的地での体験が「本物の体験」であること。国立競技場の文脈では、国立競技場という遺産価値にどれだけ「本物さ」を感じ、国立競技場観戦によって神秘的な雰囲気やサッカーにまつわる文化遺産などの「本物さ」をどれだけ経験しているかを評価する。

国立競技場の真正性 質問項目一覧

因 子	項 目
客観的真正性※1	1. 国立のデザインや設備の独特さが好きだ 2. 国立の全体的な設計と建物の印象に感銘を受ける 3. 国立にまつわる歴史が興味深くて好きだ 4. 国立が魅力的な景観、歴史、観光地のある明治神宮外苑に溶け込んでいることが好きだ
実存的真正性※2	1. 国立観戦はサッカーにまつわる歴史背景の深い理解をもたらす 2. 国立ではサッカーの歴史や文化との繋がりをを感じる 3. 国立での独特で神秘的な体験が好きだ 4. 国立の穏やかで平穏な雰囲気が好きだ 5. 国立観戦ではサッカーにまつわる歴史的な出来事や雰囲気を感じる 6. 国立でのサッカーの文化遺産に関連するイベントが好きだ

※1 スタジアムの固有の属性やスタジアムそのものの特性から得られる物的ベースの真正性

※2 スタジアムの歴史・文化に対する観戦者自身の感情や、その感情に基づく神聖な経験から得られる活動ベースの真正性

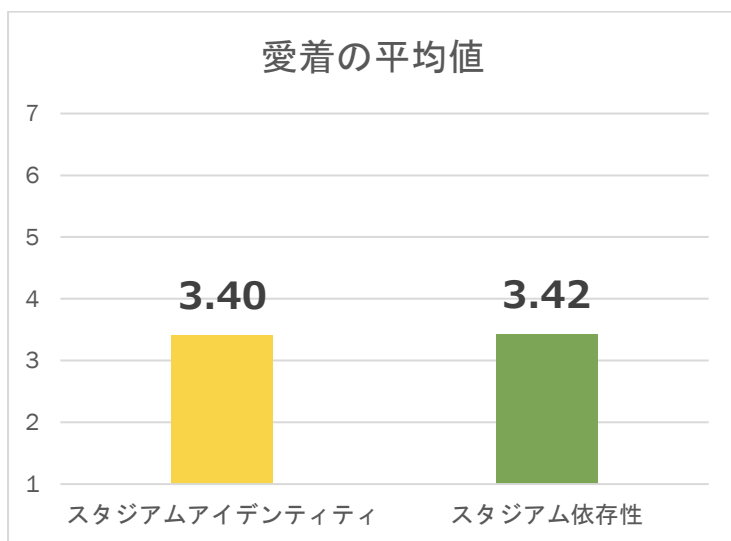


- 客観的真正性の平均値は4.69であり、実存的真正性は4.80である
- グランパスファンは、国立競技場の**客観的真正性よりも実存的真正性をやや高く評価**することがうかがえる

〈国立競技場への愛着〉

国立競技場への愛着 質問項目一覧

因 子	項 目
スタジアムアイデンティティ	1. 国立に対して強い愛着がある 2. 国立は私にとって非常に特別なスタジアムだ 3. 国立でサッカー観戦をすることは、私が誰であることを物語っている
スタジアム依存性	1. 他のどのスタジアムでのサッカー観戦よりも国立での観戦は大切だ 2. 他のどのスタジアムよりも国立でのサッカー観戦が楽しい 3. 他のどのスタジアムよりも国立でのサッカー観戦でより満足できる

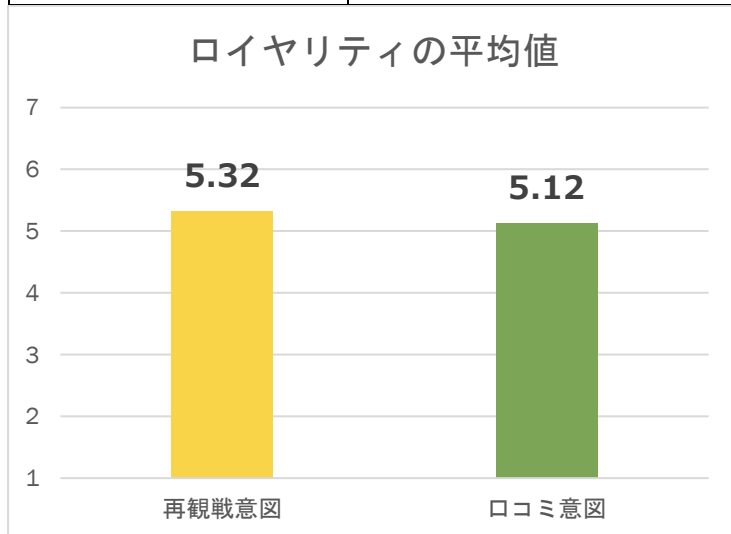


- スタジアムアイデンティティの平均値は3.40であり、スタジアム依存性の平均値は3.42である
- グランパスファンは、**国立競技場に対する愛着のレベルが低い**ことがうかがえる

〈国立競技場のロイヤリティ〉

国立競技場のロイヤリティ 質問項目一覧

因 子	項 目
再観戦意図	今後も国立でのリーグ観戦を行いたい
口コミ意図	国立でのリーグ観戦を友人に勧めたい

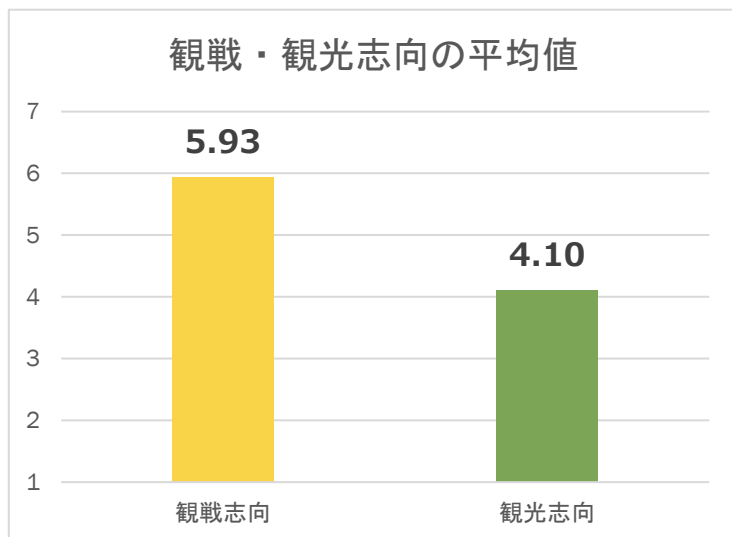


- 国立競技場への再観戦意図の平均値は5.32であり、口コミ意図の平均値は5.12である
- 国立競技場への愛着は低かったものの、**国立競技場に対するロイヤリティはある程度持つ**ことがうかがえる

〈国立競技場観戦における観戦・観光志向〉

観戦・観光志向 質問項目一覧

因子	項目
観戦志向	好きなクラブを応援するために国立での試合観戦を行う
観光志向	東京周辺での観光を楽しむために国立での試合観戦を行う

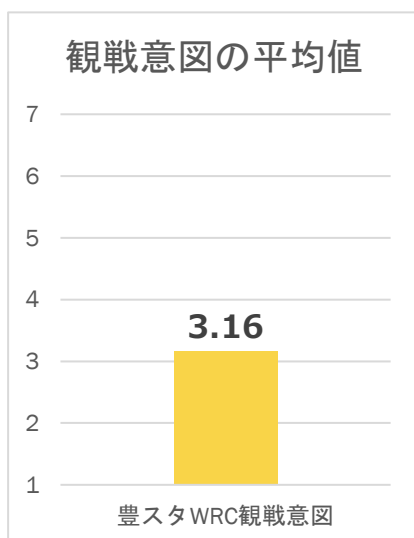
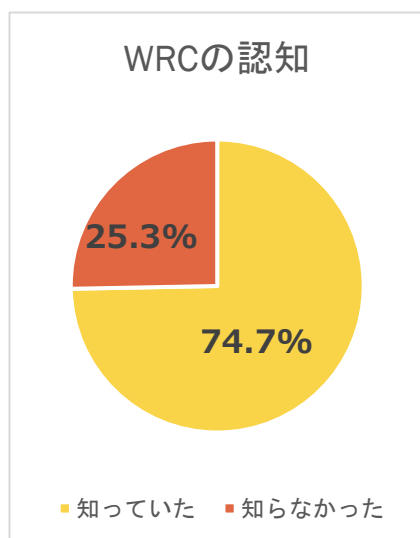


- 観戦志向の平均値は5.93であり、観光志向の平均値は4.10である
- 観戦志向が高いことから、**国立競技場での試合観戦が主な東京訪問の目的であることがうかがえる**
- 観光志向も平均値が4.00を越えており、国立競技場での観戦だけではなく**東京周辺での観光を楽しむ傾向があることがうかがえる**

〈WRCの認知と観戦意図〉

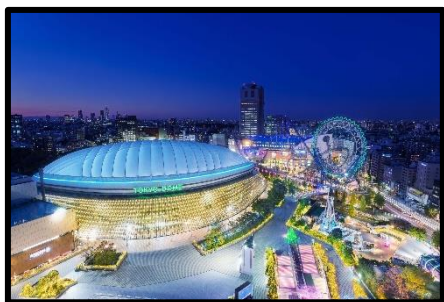
WRCの認知と観戦意図 質問項目一覧

因子	項目
WRCの認知	豊田スタジアムでラリージャパン2024が開催されることを知っていた（はい or いいえ）
WRCの観戦意図	豊田スタジアムでラリージャパン2024を観戦したい



- WRC開催について、74.7%の観戦者は認知していたが、25.3%の観戦者は認知していなかった
- グランパスファンのWRC観戦意図の平均値は3.16であり、**豊田スタジアムに訪れたアウェイファンのWRC観戦意図（平均値3.54）よりも低いことがうかがえる**

〈観戦前後の関東圏での観光行動〉



東京ドーム（巨人 vs 中日）



両国国技館 相撲観戦



オリンピックミュージアム



JFAサッカー文化創造拠点



ニッパツ三ツ沢球技場（横浜FC）



つば九郎ハウ巣



野球殿堂博物館



明治神宮球場（6大学野球）



東京タワー



築地



豊洲



浅草



東京スカイツリー



上野動物園



明治神宮



乃木神社



代々木公園



お台場



東京駅



六本木ヒルズ



戸越銀座商店街



ルミネtheよしもと



中野ブロードウェイ



横浜



赤坂ハリーポッター



東京ディズニーランド



幕張メッセ（音楽ライブ）



味の素スタジアム（音楽ライブ）



ROCK IN JAPAN（音楽ライブ）



東京国立博物館



国立美術館



ジブリ美術館



太田記念美術館

秋葉原、渋谷、自由が丘、
新宿、新大久保、恵比寿、
原宿、六本木、日本橋、
銀座、表参道、下北沢

その他都内各地

- 野球（プロ野球、6 大学野球）、サッカー（J2）、大相撲（東京場所）の**スポーツ観戦**を行う
- **スポーツにまつわる文化遺産（ヘリテージ）観光**を行う（例：オリンピックミュージアム、野球殿堂博物館、サッカー文化創造拠点blue-ing、つば九郎ハウズ）
- 東京タワーや浅草をはじめとする都内各地の観光地を訪れる
- 横浜、東京ディズニーランド、幕張メッセなどの**東京都外の関東地域**で観光を行う
- 関東地域で行われる**音楽ライブ**に参加する
- 東京国立博物館をはじめとする**博物館／美術館**を訪問する

.....

〈関東圏外での観戦前後の観光行動〉



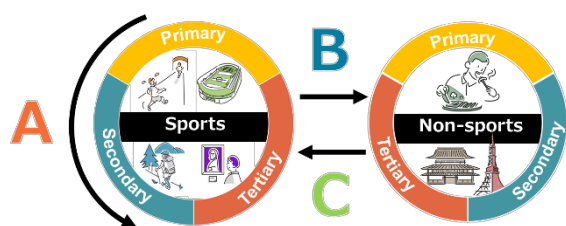
- 翌日に**福島県**で開催されたJ2の試合観戦を行う（ $n = 2$ ）
- 交通手段としては、自家用車（ $n = 1$ ）と電車（ $n = 1$ ）

ハイアンスタジアムいわき（FCいわき）

4. 研究紹介・成果還元

アウェイ観戦者のサブプリメンタル観光行動： 観戦・観光志向に着目して

サブプリメンタル観光行動 (Ito & Higham, 2020)



主目的の観光行動を補完する2次的・3次的な観光行動をサブプリメンタル観光行動と呼ぶ。特にスポーツツーリズムにおいては、以下の3つの行動パターンが考えられる。

- A) 主目的のスポーツ観光から2/3次的なスポーツ観光
- B) 主目的のスポーツ観光から2/3次的な非スポーツ観光
- C) 主目的の非スポーツ観光から2/3次的なスポーツ観光

アウェイツーリズムは、主目的のアウェイ観戦（スポーツ観光）から A) 2/3次的なスポーツ観光、またはB) 2/3次的な非スポーツ観光の流れが考えられる。この枠組みを用いて、アウェイツーリズムのサブプリメンタル観光行動を理解する。その際に観戦・観光志向のレベルを参考に、4グループのセグメントを用いる。

研究目的

アウェイツーリストの観戦・観光志向のレベル別による
サブプリメンタル観光行動を明らかにする

使用データ

- ▶ 豊田スタジアムで実施したアウェイファン調査の2試合
- ▶ 愛知県在住者を除外

まとめ・展望



スポーツ × 非スポーツでアウェイツーリズムの推進
グランパス × ドラゴンズでダブルアウェイツーリズムの推進

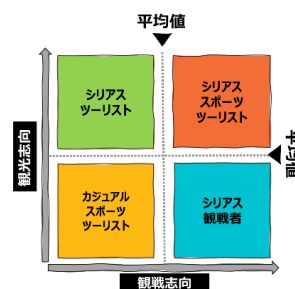
分析方法

IP分析

- ▶ 観戦志向の平均値を算出
- ▶ 観光志向の平均値を算出
- ▶ 平均値を基に4グループに分類

テーマ分析

- ▶ 日本交通公社（n.d.）による観光資源タイプを参考
- ▶ 4グループごとにサブプリメンタル観光行動を特定



結果・考察

シリアススポーツツーリスト (n = 105)

- ▶ 観戦・観光志向がともに高いグループ
- ▶ 地元の食事、城、神社、商店街、博物館/美術館、芸能/スポーツ、テーマパーク、年中行事、庭園、温泉を特定
- ▶ サンプルが最も多く、アウェイ観戦者は高い観光志向も持つ

シリアス観戦者 (n = 52)

- ▶ 観戦志向が高く、観光志向が低いグループ
- ▶ 食事、芸能/スポーツ、城、テーマパーク、神社、博物館/美術館を特定
- ▶ 他のスポーツ観戦（アウェイ観戦）を行う割合が高い

シリアス観光者 (n = 24)

- ▶ 観戦志向が低く、観光志向が高いグループ
- ▶ 食事、神社、テーマパーク、城、商店街、庭園が特定
- ▶ 女性の割合が多く、テーマパークの頻出が高い

カジュアルスポーツツーリスト (n = 43)

- ▶ 観戦・観光志向がともに低いグループ
- ▶ 食事、神社、商店街、城、博物館を特定
- ▶ 観戦観光志向は低い、他グループと同様の観光を行う

観戦型スポーツツーリズムにおける感情連帯と行動意図の 関連性：アウェイファンの着目して

感情連帯 (Durkheim, 1995)



Durkheim (1995) は、オーストラリアの原住民が宗教的活動中に、神聖な信仰や儀式的な行動を共有することによって、個人と個人の間に感情的結びつきが生じることを明らかにしている。この感情的結びつきは「感情連帯」と呼ばれ、観光学分野において、感情連帯はツーリストと地域住民の間の関係性を説明するために用いられてきた。

本研究では、感情連帯を豊田スタジアムでの試合観戦に応用させ、ホームファンとアウェイファンの感情的結びつきに焦点を当てる。特に、アウェイファンがホームファンに対して抱く感情連帯を精査する。

研究目的

感情連帯を援用し、アウェイファンがホームファンに対して持つ感情連帯と行動意図の関連性を明らかにする

使用データ

- ▶ 豊田スタジアムで実施したアウェイファン調査の2試合
- ▶ 愛知県在住者を除外

分析方法

因子分析

- ▶ アウェイツーリズムの文脈に合わせた感情連帯因子の特定

階層的重回帰分析

- ▶ 感情連帯と行動意図の関連性を検証

結果・考察

感情連帯の4因子の特定

対人的受け入れ

好意的理解

経済的受け入れ

感情的親密さ

対人的受け入れ

- ▶ グランパスファンに歓迎されること、グランパスファンを公平に扱うことは、対人的受け入れの形成において重要である

経済的受け入れ

- ▶ 観戦チケットの購入や観戦前後の観光行動といった消費活動がグランパスファンから評価されることは、経済的受け入れの形成において重要である

好意的理解

- ▶ グランパスファンと共通点を見出すことや一体感を感じることは、好意的理解の形成において重要である

感情的親密さ

- ▶ 友好的な関係の構築やスタジアム内での交流は、感情的親密さの形成において重要である

感情連帯と行動意図の関係性

- ▶ **対人的受け入れ**が行動意図に正の関連性を持つ
- ▶ アウェイファンを歓迎する雰囲気作りは、豊スタ再観戦行動の促進に繋がる？！

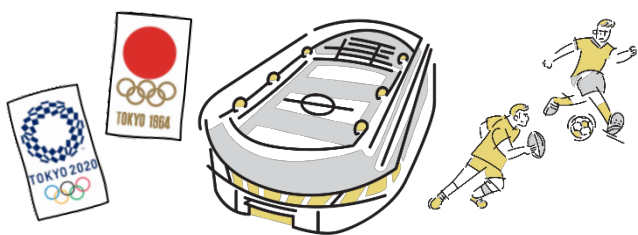
まとめ・展望



おもてなしゾーンの設置など、グランパスファンからの歓迎を感じさせる試合運営が求められる

国立競技場におけるスタジアムの真正性、スタジアム愛着、ロイヤリティの関係性

国立競技場の真正性



国立競技場では、サッカー日本代表戦、高校サッカー選手権決勝、天皇杯決勝、Jリーグ開幕戦が行われてきた。そのため、観戦者は「サッカーの聖地」と称される国立競技場の真正性を求めている。真正性とは、観光者が異なる時代を体験するための重要な原動力であり（Park et al., 2019）、国立競技場での「本物の体験」を求めるものである。真正性はヘリテージスポーツツーリズムにおいて重要な概念であり、場所への愛着やロイヤリティの形成に寄与すると考えられている。グランパスファンがどれほど国立競技場の真正性を知覚しており、それが愛着やロイヤリティに繋がるのかを理解する。

研究目的

国立競技場に訪れたグランパスの観戦者を対象に、スタジアムの真正性、スタジアム愛着、ロイヤリティの関係性を明らかにする

使用データ

- ▶ 国立競技場で実施したグランパスファン調査
- ▶ 誤って回答されたFC東京の応援者を除外

分析方法

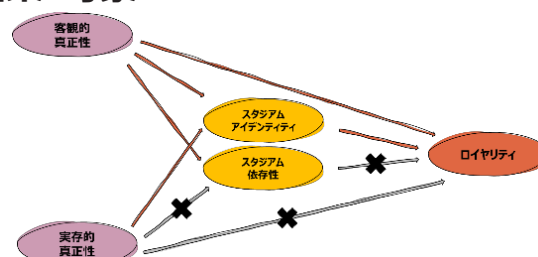
確認的因子分析

- ▶ 測定尺度の信頼性と妥当性を検証

構造方程式モデリング

- ▶ 真正性 → 愛着 → ロイヤリティの関係性を検証

結果・考察



客観的真正性

- ▶ 客観的真正性は、スタジアム愛着およびロイヤリティと正の関連性がある
- ▶ スタジアムのデザインや雰囲気为爱着を形成し、そして再観戦行動に繋がる可能性がある

実存的真正性

- ▶ 実存的真正性は、スタジアムアイデンティティと正の関連性があるが、スタジアム依存性とロイヤリティには繋がらない
- ▶ サッカーにまつわる国立競技場の歴史を重視することは、愛着やロイヤリティの形成には繋がらない

スタジアム依存性

- ▶ 他のスタジアムよりも国立競技場を好む程度を表すスタジアム依存性は、真正性とロイヤリティを媒介しない
- ▶ グランパスファンは豊田スタジアムへの依存性が高く、国立競技場の文脈では媒介効果がなかった？！

まとめ・展望



国立競技場と同様に、**豊田スタジアムのヘリテージ**を活かせば**スポーツツーリストの増加が期待できる**

豊田スタジアムに訪れたアウェイファンおよび国立競技場に訪れたグランパスファンのWRC観戦意図の比較検討

観戦意図 (吉田ら, 2013)



観戦意図は、将来の観戦行動を予測することができる変数である (吉田ら, 2013)。先行研究では、過去に訪問した経験のある場所に対しては愛着が形成され、再訪問行動に繋がることが指摘されている (Moore & Graefe, 1994)。したがって、アウェイ観戦で豊田スタジアムを訪れたアウェイファンは、豊田スタジアムでのWRC観戦を行う可能性が高いことが予想される。また、豊田スタジアムで豊富な観戦経験を持つグランパスファンにおいても、WRC観戦意図は高くなる可能性が考えられる。

研究目的

豊田スタジアムに来場したアウェイファンと国立競技場に来場したグランパスファンを対象に、WRC観戦意図の違いを明らかにする

使用データ

- ▶ 豊田スタジアムで実施したアウェイファン調査の2試合
- ▶ 国立競技場で実施したグランパスファン調査

分析方法

t検定

- ▶ アウェイファンのWRC観戦意図の平均値を算出
- ▶ グランパスファンのWRC観戦意図の平均値を算出
- ▶ それぞれの平均値を比較

結果・考察

	アウェイ		グランパス		<i>t</i>	<i>p</i>
	<i>M</i>	<i>SD</i>	<i>M</i>	<i>SD</i>		
観戦意図	3.54	1.91	3.16	2.05	-2.26	.02

記述統計結果

- ▶ アウェイファンの平均値は3.54、標準偏差は1.91である
- ▶ グランパスファンの平均値は3.16、標準偏差は2.05である

t検定結果

- ▶ グランパスファンよりもアウェイファンの方が、WRC観戦意図の平均値が有意に高かった ($t = -2.26, p < .05$)
- ▶ アウェイファンは豊田スタジアムでのWRC観戦に興味関心を持っていることがうかがえる
- ▶ グランパスファンのWRC観戦意図が低い要因としては、ホーム最終戦との日程が被ることや、ホーム最終戦を豊田スタジアムで開催できないことに対する反感が考えられる

まとめ・展望



豊田スタジアムを訪れるアウェイファンをターゲットにWRC観戦のプロモーションを年間通して実施する

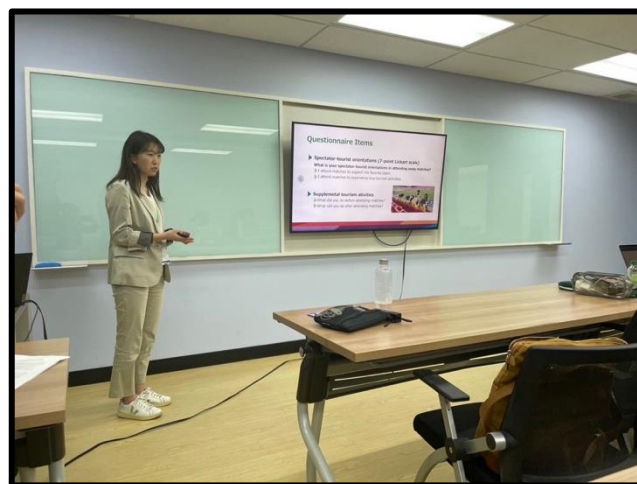
成果還元

■ 日本生涯スポーツ学会第26回大会 流通科学大学



叢 瑋・伊藤 央二：観戦型スポーツツーリズムにおける感情連帯と行動意図の関連性：アウェイツーリストに着目して．2024年12月．（口頭発表）

■ 2024 TTRA Asia Pacific Annual Chapter Conference Bangkok, Thailand



Akari Ota & Eiji Ito: Supplemental tourism activities among away football spectators in Japan: A focus on spectator and tourist orientations. December 2024. (口頭発表)

5. 今後の展望

5. 今後の展望

アプローチ1



>>> 豊田スタジアムに訪れるアウェイファンの行動分析

〈主な結果〉

- アウェイファンの7割以上は宿泊を伴い、そのうちの約4割は豊田市内の宿泊施設を利用する
- グランパスファンからの歓迎やフェアな扱いを受けることで、豊田スタジアムへの再訪問意図が高まる
- 約7割のアウェイファンが豊田スタジアムでのWRC開催を認知し、その観戦意図は国立競技場に来場するグランパスファンよりも高い
- アウェイファンの多くが観戦前後に観光をしており、特に名古屋市内での観光行動が顕著である
- 豊田市内では豊田市駅での食事、豊田市美術館、豊田市博物館といったカジュアルな観光が行われる
- バンテリンドームでの野球観戦、ドルフィンズアリーナでの大相撲観戦、岐阜県でのFC岐阜観戦といったスポーツ観戦も行われている



豊田市内宿泊者の増加に向けた取り組み

本調査から明らかとなった豊田市内宿泊者は約4割。この市内宿泊者の割合をさらに向上させることが求められる。そのためには、アウェイファンの宿泊施設選定要因や宿泊施設の情報入手手段など、宿泊施設選定における詳細なデータ収集が求められる。



「アウェイファンに優しい街・豊田市」

アウェイファンは、豊田市に訪れる貴重なスポーツツーリストである。一般的にアンフェアに扱われる傾向にあるアウェイファンであるが、豊田市をあげて歓迎する文化を形成してみてはどうだろうか。「アウェイファンに優しい街・豊田市」としてのブランディングを行うことが求められる。



アウェイ観戦モデルコースの提案

豊田市内での観戦前後の観光行動を促進するために、「アウェイ観戦モデルコース in 豊田市」の提案が求められる。観戦前後に市内で行うカジュアルな観光をモデルコースに盛り込むことで、市内消費額の増加が期待できる。



WRC観戦への誘導

年間で20試合以上のホーム戦を豊田スタジアムで開催するグランパス。各試合のアウェイファンにWRC開催を周知させ、観戦行動へと繋げることができるのではないかと。年間を通じて、アウェイファンに対する継続的なWRC宣伝が求められる。



国立競技場に訪れる グランパスファンの行動分析

〈主な結果〉

- 国立競技場に訪れるグランパスファンのうち、**5割以上が関東地域に居住**する
- 国立競技場の**遺産価値**に惹かれ、スタジアムに対するアイデンティティが形成される
- 約7割のグランパスファンが豊田スタジアムでのWRC開催を認知している一方、その観戦意図は豊田スタジアムに来場する**アウェイファンよりも低い**
- ホームタウンから国立競技場に訪れるグランパスファンの多くが観戦前後に観光をしており、都内の人気観光地から都外の観光地まで、その**観光目的地はさまざま**である
- 野球、相撲、サッカーといったスポーツ観戦に加え、野球殿堂博物館やオリンピックミュージアムなどのスポーツ文化遺産を活用した**ヘリテージスポーツツーリズム**を行う



関東地域に居住するグランパスファンの豊田スタジアム誘導

関東地域に居住するグランパスファンは、豊田市に訪れるスポーツツーリストのターゲットとなる。グランパス観戦をきっかけに豊田市へと呼び込み、彼らをターゲットとした市内観光地の割引チケットや食事券の配布などが求められる。先述したアウェイ観戦モデルコースも彼らに応用可能である。



グランパスファンにも豊田市内での観光を

グランパスファンも、試合観戦前後に訪問地域の観光を楽しむことが明らかとなった。国立競技場観戦と同様に、豊田スタジアム観戦においてもカジュアルな豊田市内観光へと誘導させることができるのではないかと。ホームファン（特に、豊田市外居住者）に対する市内観光プロモーションが求められる。



豊田スタジアムの文化遺産を活かしたプロモーション

グランパスファンは、ヘリテージスポーツツーリズムを行うことが明らかとなった。豊田スタジアムも、約四半世紀豊田市に根づき、独自の文化や歴史的遺産を次世代へと継承する重要なスポーツ施設である。そのため、豊田スタジアムの歴史的遺産に着目し、ホームファンならびにアウェイファンの豊田スタジアムに対する愛着を高めてはどうか。スタジアム内にあるスタジアムギャラリーを活用し、試合前に豊田スタジアムの文化遺産に触れる体験を積極的に提供してはどうだろうか。また、豊田スタジアムはグランパスだけではなく、サッカー日本代表戦、2019ラグビーW杯、WRCといったさまざまな競技大会で使用されてきた歴史がある。これらの歴史的遺産を活用した定期的なスタジアムツアーの開催も効果的であろう。

6. 引用文献

6. 引用文献

- Durkheim (1995) *The elementary forms of the religious life*. New York, Free Press.
- Higham, J., & Hinch, T. (2018) *Sport tourism development* (3rd edition). Channel View Publication.
- Ito, E. & Higham, J. (2020). Supplemental tourism activities: A conceptual framework to maximise sport tourism benefits and opportunities. *Journal of Sport & Tourism*, 24(4), 269-284.
- Ito, E. (2020). Relationships of involvement and interdependent happiness across a revised Masters Games participants typology. *Journal of Sport & Tourism*, 24(4), 235-250.
- Jリーグ (n.d.) THE国立DAY. <https://www.jleague.jp/special/kokuritsu/2025/> (参照日2025年1月24日) .
- Kolar, T., & Zabkar, V. (2010). A consumer-based model of authenticity: An oxymoron or the foundation of cultural heritage marketing? *Tourism Management*, 31, 652-664.
- Koo, S. K., Byon, K. K., & Baker, T, A. (2014) Integrating event image, satisfaction, and behavioral intention: Small-scale marathon. *Sport Marketing Quarterly*, 23, 127-137.
- Moore, R. L., & Graefe, A. R. (1994) Attachments to recreation settings: The case of rail-trail users. *Leisure Sciences*, 16(1), 17-31.
- 名古屋グランパス (n.d.a) 2024シーズン試合日程・結果. <https://nagoya-grampus.jp/game/result/2024/> (参照日2025年1月26日) .
- 名古屋グランパス (n.d.b) 名古屋グランパス ホームゲーム最多入場者数！新国立競技場最多入場者数！8月5日（土）アルビレックス新潟戦 57,058人 来場の御礼！. <https://nagoya-grampus.jp/news/game/2023/0808-85-57058.php> (参照日2025年1月25日) .
- 日本交通公社 (n.d.) 観光資源タイプとは. <https://tabi.jtb.or.jp/about/type/> (参照日2024年12月11日) .
- Park, E., Choi, B., & Lee, T. J. (2019) The role and dimensions of authenticity in heritage tourism. *Tourism Management*, 74, 99-109.
- スポーツ庁・経済産業省 (2023) 第二期スポーツ未来開拓会議中間報告. https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/sports_future/pdf/20230705_1.pdf (参照日2024年12月24日) .
- 豊田市 (2021) 豊田市観光実践計画2021～2024. https://www.city.toyota.aichi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/007/613/2021/02.pdf (参照日2025年1月26日) .
- 豊田市 (2022) 第4次豊田市生涯スポーツプラン. https://www.city.toyota.aichi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/007/545/r0404/01.pdf (参照日2025年1月26日) .

- Woosnam, K. M., Norman, W. C., & Ying, T. (2009). Exploring the theoretical framework of emotional solidarity between residents and tourists. *Journal of Travel Research*, 48(2), 245-258.
- Yoshida, M., Gordon, B. S., Nakazawa, M., & Yoshida, N. (2021). An integrated model for stadium atmosphere and stadium attachment: An empirical test in two baseball stadium contexts. *Sport Marketing Quarterly*, 30(2), 95-110.
- 吉田政幸・仲澤眞・井上尊寛・片上千恵・岩村聡（2013）スポーツイベントにおける再観戦行動：再観戦意図の先へ。スポーツマネジメント研究, 5(1), 3-18.

7. 付録資料

豊田スタジアムでの観戦行動に関するアンケート調査（アウェイファン対象）

本調査は、皆様の豊田スタジアムでのグランパス戦の観戦行動について理解を深めることを目的としています。調査は無記名で、回答いただく内容は数字で処理され、皆様にご迷惑をお掛けすることはございません。調査対象者は18歳以上です。また、研究への参加に同意した場合でも、調査用紙提出前であれば調査への協力及び回答の撤回はできます。但し、提出後は調査への協力及び回答の撤回はできません。ご不明な点があれば、以下にお問い合わせ下さい（本調査の一部は豊田市令和6年度大学・高専発研究提案事業の助成を受けております）。

研究実施者：中京大学スポーツ科学研究科 博士後期課程2年 ソウイ (j12304d@m.chukyo-u.ac.jp)

研究責任者：中京大学スポーツ学部 教授 伊藤 央二 (ejjito@sass.chukyo-u.ac.jp)

セクションA：あなた自身についてお尋ねします。当てはまる項目にチェックを入れてください。

年 齢	歳	性 別	☐ 男性 ☐ 女性 ☐ その他
応援するチーム	☐ 柏レイソル ☐ どちらもでない ☐ 名古屋グランパス	滞在日数	☐ 日帰り ☐ 1泊2日 ☐ 2泊3日 ☐ その他
居住地	() 都道府県	宿泊場所 (宿泊者のみ)	☐ 豊田市内 ☐ 豊田市外
アウェイ試合 観戦経験 (今日除く)	☐ あ り ↓ ☐ な し そのうち、 豊スタ での柏レイソル戦の アウェイ観戦回数 () 回	同伴者 (複数回答可)	☐ なし(1人) ☐ 家 族 ☐ 友 人 ☐ 恋 人 ☐ その他 ()
今日のチケットの席種	☐ ゴール裏席 ☐ SS席 ☐ S席 ☐ A席 ☐ B席 ☐ C席 ☐ 3/4階席 ☐ その他 ()	居住地からの 交通手段 (複数回答可)	☐ 徒歩のみ ☐ 自転車 ☐ 自家用車 ☐ バス ☐ 電 車 ☐ その他

セクションB：アウェイ観戦についてあなたの意見をお尋ねします。以下の項目を読み、それぞれ最も当はまる数字を1つ選び○で囲んでください（豊田スタジアム＝豊スタ；名古屋グランパスファン＝名古屋ファン）。

まったく そう思わない			どちらとも いえない			非常に そう思う	
1	2	3	4	5	6	7	
1. 豊スタで名古屋ファンと友好的な関係を築きたい	1	2	3	4	5	6	7
2. 豊スタで名古屋ファンと一体感を感じる	1	2	3	4	5	6	7
3. 豊スタにいる名古屋ファンの気持ちが理解できる	1	2	3	4	5	6	7
4. 私たち（アウェイファン）が豊スタで観戦することにより生まれる利益が、名古屋ファンに評価されていると感じる	1	2	3	4	5	6	7
5. 豊スタで名古屋ファンに親近感を感じる	1	2	3	4	5	6	7
6. 私たち（アウェイファン）の地域経済への貢献が名古屋ファンに評価されていると感じる	1	2	3	4	5	6	7
7. 豊スタで名古屋ファンと交流することは楽しい	1	2	3	4	5	6	7
8. 豊スタにいる名古屋ファンと多くの共通点を持っている	1	2	3	4	5	6	7
9. 豊スタにいる名古屋ファンを好意的に感じる	1	2	3	4	5	6	7
10. 豊スタでの名古屋ファンとの交流は有益なものである	1	2	3	4	5	6	7
11. アウェイファンとして歓迎されることを嬉しく思う	1	2	3	4	5	6	7
12. 豊田スタジアムで名古屋ファンをフェアに扱っている	1	2	3	4	5	6	7

セクションC：あなたの今後の柏レイソル観戦についてお尋ねします。

1. 来シーズン、豊スタで柏レイソル戦を再び観戦したい	1	2	3	4	5	6	7
2. 来シーズン、柏レイソルのスタジアムでグランパス戦を観戦したい	1	2	3	4	5	6	7

セクションD：アウェイ観戦に対するあなたの観戦・観光志向についてお尋ねします。

1. 柏レイソルを応援するためにアウェイ観戦を行う	1	2	3	4	5	6	7
2. アウェイ戦開催地での観光を楽しむためにアウェイ観戦を行う	1	2	3	4	5	6	7

セクションE：フォーラムエイト・ラリージャパン 2024の観戦行動についてお尋ねします（11月21～24日に愛知・岐阜エリアで開催され、豊スタ内に設置された特設コースでもレースが行われます）。

1. 豊スタでラリージャパン2024が開催されることを知っていた	☐ は い ☐ いいえ						
2. 豊スタでラリージャパン2024を観戦したい	1	2	3	4	5	6	7

ご協力ありがとうございました。

◆昨日または試合前に行った観光

豊田市内	豊田市外

◆試合後または明日に行う予定の観光

豊田市内	豊田市外

- ☐ どこで・なにをした？
- ☐ 他のスポーツ活動／観戦した？
- ☐ 豊スタ以外での食事は？ショッピングは？

豊田スタジアムでの観戦行動に関するアンケート調査（アウェイファン対象）

本調査は、皆様の豊田スタジアムでのグランパス戦の観戦行動について理解を深めることを目的としています。調査は無記名で、回答いただく内容は数字で処理され、皆様にご迷惑をお掛けすることはございません。調査対象者は18歳以上です。また、研究への参加に同意した場合でも、調査用紙提出前であれば調査への協力及び回答の撤回はできます。但し、提出後は調査への協力及び回答の撤回はできません。ご不明な点があれば、以下にお問い合わせ下さい（本調査の一部は豊田市長 6 年度大学・高専発研究提案事業の助成を受けております）。

研究実施者：中京大学スポーツ科学研究科 博士後期課程 2 年 ソウ イ (j12304d@m.chukyo-u.ac.jp)
研究責任者：中京大学スポーツ科学部 教 授 伊藤 央二 (ejito@sass.chukyo-u.ac.jp)

セクション A：あなた自身についてお尋ねします。当てはまる項目にチェックを入れてください。

年 齢	歳	性 別	☐ 男性 ☐ 女性 ☐ その他
応援する チーム	☐ サンフレッチェ ☐ グランパス ☐ どちらでもない	滞在日数	☐ 日帰り ☐ 1泊2日 ☐ 2泊3日 ☐ その他
居住地	() 都道府県	宿泊場所 (宿泊者のみ)	☐ 豊田市内 ☐ 豊田市外
アウェイ試合 観戦経験 (今日除く)	☐ あ り ↓ ☐ な し そのうち豊スタでのサンフレッチェ広島 のアウェイ観戦回数 () 回	同伴者 (複数回答可)	☐ なし (1人) ☐ 家 族 ☐ 友 人 ☐ 恋 人 ☐ その他 ()
今日のチケット の席種	☐ ゴール裏席 ☐ SS 席 ☐ S 席 ☐ A 席 ☐ B 席 ☐ C 席 ☐ 3/4 階席 ☐ その他 ()	居住地からの 交通手段 (複数回答可)	☐ 徒歩のみ ☐ 自転車 ☐ 自家用車 ☐ バ ス ☐ 電 車 ☐ その他

セクション B：アウェイ観戦についてあなたの意見をお尋ねします。以下の項目を読み、それぞれ最も当てはまる数字を1つ選び○で囲んでください（豊田スタジアム＝豊スタ；名古屋グランパスファン＝名古屋ファン）。

まったく そう思わない			どちらとも いえない				非常に そう思う
1	2	3	4	5	6	7	
1. 豊スタで名古屋ファンと友好的な関係を築きたい	1	2	3	4	5	6	7
2. 豊スタで名古屋ファンと一体感を感じる	1	2	3	4	5	6	7
3. 豊スタにいる名古屋ファンの気持ちが理解できる	1	2	3	4	5	6	7
4. 私たち（アウェイファン）が豊スタで観戦することにより生まれる利益が、名古屋ファンに評価されていると感じる	1	2	3	4	5	6	7
5. 豊スタで名古屋ファンに親近感を感じる	1	2	3	4	5	6	7
6. 私たち（アウェイファン）の地域経済への貢献が名古屋ファンに評価されていると感じる	1	2	3	4	5	6	7
7. 豊スタで名古屋ファンと交流することは楽しい	1	2	3	4	5	6	7
8. 豊スタにいる名古屋ファンと多くの共通点を持っている	1	2	3	4	5	6	7
9. 豊スタにいる名古屋ファンを好意的に感じる	1	2	3	4	5	6	7
10. 豊スタでの名古屋ファンとの交流は有益なものである	1	2	3	4	5	6	7
11. アウェイファンとして歓迎されることを嬉しく思う	1	2	3	4	5	6	7
12. 豊スタで名古屋ファンをフェアに扱っている	1	2	3	4	5	6	7

セクション C：あなたの今後のサンフレッチェ広島（＝サンフレッチェ）観戦についてお尋ねします。

1. 来シーズン、豊スタでサンフレッチェ戦を再び観戦したい	1	2	3	4	5	6	7
2. 来シーズン、サンフレッチェのスタジアムでグランパス戦を観戦したい	1	2	3	4	5	6	7

セクション D：アウェイ観戦に対するあなたの観戦・観光志向についてお尋ねします。

1. サンフレッチェを応援するためにアウェイ観戦を行う	1	2	3	4	5	6	7
2. アウェイ戦開催地での観光を楽しむためにアウェイ観戦を行う	1	2	3	4	5	6	7

セクション E：フォーラムエイト・ラリージャパン 2024 の観戦行動についてお尋ねします（11月21～24日に愛知・岐阜エリアで開催され、豊スタ内に設置された特設コースでもレースが行われます）。

1. 豊スタでラリージャパン 2024 が開催されることを知っていた	☐ は い ☐ いいえ
2. 豊スタでラリージャパン 2024 を観戦したい	1 2 3 4 5 6 7

☐ 帰省 ☐ 帰省ではない

◆昨日以前または試合前に行った観光

	場 所	スポーツ関連	内 容	資源
1	豊田市内 ・ 豊田市外	非スポーツ ・ スポーツ	食事：（ ）	M
2	豊田市内 ・ 豊田市外	非スポーツ ・ スポーツ		
3	豊田市内 ・ 豊田市外	非スポーツ ・ スポーツ		
4	豊田市内 ・ 豊田市外	非スポーツ ・ スポーツ		
5	豊田市内 ・ 豊田市外	非スポーツ ・ スポーツ		

◆試合後または明日以降に行う予定の観光

1	豊田市内 ・ 豊田市外	非スポーツ ・ スポーツ	食事：（ ）	M
2	豊田市内 ・ 豊田市外	非スポーツ ・ スポーツ		
3	豊田市内 ・ 豊田市外	非スポーツ ・ スポーツ		
4	豊田市内 ・ 豊田市外	非スポーツ ・ スポーツ		
5	豊田市内 ・ 豊田市外	非スポーツ ・ スポーツ		

◇ 人文資源

- A. 史跡
- B. 神社・寺院・教会
- C. 城跡・城郭・宮殿
- D. 集落・街
- E. 郷土景観
- F. 庭園・公園
- G. 建造物
- H. 年中行事（祭り・伝統行事）
- I. 動植物園・水族館
- J. 博物館・美術館
- K. テーマ公園・テーマ施設
- L. 温泉
- M. 食
- N. 芸能・スポーツ

◇ 自然資源

- O. 山岳
P. 高原・湿原・原野
Q. 湖沼
R. 河川・峡谷
S. 滝
T. 海岸・岬
U. 岩石・洞窟
V. 動物
W. 植物
X. 自然現象

国立競技場での観戦行動および観戦前後の観光行動に関するアンケート調査

本調査は、皆様の国立競技場の試合の観戦行動について理解を深めることを目的としています。調査結果は数字で処理され、皆様にご迷惑をお掛けすることはありません。調査対象者は18歳以上です。また、研究への参加に同意した場合でも、調査用紙提出前であれば調査への協力及び回答の撤回はできますが、提出後は調査への協力及び回答の撤回はできません。※本研究は令和6年度豊田市大学・高専発研究提案事業の助成を受けています。
研究実施者：中京大学スポーツ科学研究科 博士後期課程1年 太田明李 (j12401d@m.chukyo-u.ac.jp)
研究責任者：中京大学スポーツ科学部 教授 伊藤央二 (eijito@sass.chukyo-u.ac.jp)

セクションA：あなた自身についてお尋ねします。当てはまる項目にチェックを入れ、空欄を埋めてください。

年 齢	歳	性 別	☐ 男性 ☐ 女性 ☐ その他
居住地 (都道府県)	都道府県	応援するチーム	☐ 名古屋グランパス ☐ FC東京 ☐ どちらでもない／どちらとも応援する
宿泊日数	☐ 0泊 ☐ 1泊 ☐ 2泊以上	スタジアムでの サッカー観戦経験 (今日を除く)	☐ なし ☐ あり ☐ うち国立での観戦回数 → (回)
主な交通手段 (1つだけ✓)	☐ 電 車 ☐ 自家用車 ☐ バ ス ☐ その他 ☐ 飛行機	主な同伴者 (1つだけ✓)	☐ 同伴者なし ☐ 恋 人 ☐ 家 族 ☐ その他 ☐ 友 人

セクションB：国立競技場（以下、国立）に対するあなたの感情についてお尋ねします。以下の項目を読んで、それぞれ最も当てはまる数字を1つ選び、○で囲んでください。

	全 く そ う 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い	非 常 に そ う 思 う				
1. 国立での独特で神秘的な体験が好きだ	1	2	3	4	5	6	7
2. 国立のデザインや設備の独特さが好きだ	1	2	3	4	5	6	7
3. 国立が魅力的な景観、歴史、観光地のある明治神宮外苑に 溶け込んでいることが好きだ	1	2	3	4	5	6	7
4. 国立にまつわる歴史が興味深く好きだ	1	2	3	4	5	6	7
5. 国立の穏やかで平穏な雰囲気が好きだ	1	2	3	4	5	6	7
6. 国立観戦はサッカーにまつわる歴史背景の深い理解をもたらす	1	2	3	4	5	6	7
7. 国立ではサッカーの歴史や文化との繋がりを感じる	1	2	3	4	5	6	7
8. 国立観戦ではサッカーにまつわる歴史的な出来事や雰囲気を感じる	1	2	3	4	5	6	7
9. 国立の全体的な設計と建物の印象に感銘を受ける	1	2	3	4	5	6	7
10. 国立でのサッカーの文化遺産に関連するイベントが好きだ	1	2	3	4	5	6	7

セクションC：国立に対する愛着についてお尋ねします。

1. 他どのスタジアムでのサッカー観戦よりも国立での観戦は大切だ	1	2	3	4	5	6	7
2. 国立に対して強い愛着がある	1	2	3	4	5	6	7
3. 国立は私にとって非常に特別なスタジアムだ	1	2	3	4	5	6	7
4. 国立でサッカー観戦をすることは、私が誰であるかを物語っている	1	2	3	4	5	6	7
5. 他どのスタジアムよりも国立でのサッカー観戦が楽しい	1	2	3	4	5	6	7
6. 他どのスタジアムよりも国立でのサッカー観戦でより満足できる	1	2	3	4	5	6	7

セクションD：今後の国立での試合観戦についてお尋ねします。

1. 今後も国立でのJリーグ観戦を行いたい	1	2	3	4	5	6	7
2. 国立でのJリーグ観戦を友人に勧めたい	1	2	3	4	5	6	7
3. 今後、国立での女子サッカー観戦を行いたい	1	2	3	4	5	6	7
4. 国立での女子サッカー観戦を友人に勧めたい	1	2	3	4	5	6	7

セクションE：国立での試合観戦におけるあなたの観戦・観光志向についてお尋ねします。

1. 好きなクラブを応援するために国立での試合観戦を行う	1	2	3	4	5	6	7
2. 東京周辺での観光を楽しむために国立での試合観戦を行う	1	2	3	4	5	6	7

セクションF：フォーラムエイト・ラリージャパン 2024の観戦行動についてお尋ねします（11月21～24日に愛知・岐阜エリアで開催され、豊田スタジアム内に設置された特設コースでもレースが行われます）。

1. 豊田スタジアムでラリージャパンが開催されることを知っていた	☐ は い ☐ いいえ						
2. 豊田スタジアムでラリージャパンを観戦したい	1	2	3	4	5	6	7

◆今回の東京訪問は、国立での試合観戦が1番の目的ですか？ ☐ はい ☐ いいえ

◆昨日以前または試合前に行った観光

	スポーツ関連	内 容	資源
1	非スポーツ ・ スポーツ	食事：（ ）	M
2	非スポーツ ・ スポーツ		
3	非スポーツ ・ スポーツ		
4	非スポーツ ・ スポーツ		

◆試合後または明日以降に行う予定の観光

1	非スポーツ ・ スポーツ	食事：（ ）	M
2	非スポーツ ・ スポーツ		
3	非スポーツ ・ スポーツ		
4	非スポーツ ・ スポーツ		

◆オリンピックミュージアムは行きましたか？ ☐ 行かない ☐ 行った ☐ 明日行く
→ ☐ 興味あり ☐ 興味なし

◇ 人文資源

- A. 史跡

B. 神社・寺院・教会

C. 城跡・城郭・宮殿

D. 集落・街

E. 郷土景観

F. 庭園・公園

G. 建造物

H. 年中行事（祭り・伝統行事）

I. 動植物園・水族館

J. 博物館・美術館

K. テーマ公園・テーマ施設

L. 温泉

M. 食

N. 芸能・スポーツ

◇ 自然資源

- O. 山岳

P. 高原・湿原・原野

Q. 湖沼

R. 河川・峡谷

S. 滝

T. 海岸・岬

U. 岩石・洞窟

V. 動物

W. 植物

X. 自然現象

◇ その他

- Y. 商業施設

Z. 聖地巡礼

令和6年度 豊田市 大学・高専発 研究提案
「豊田スタジアムでの名古屋グランパス観戦を核とした
豊田市のスポーツツーリズム推進」



中京大学大学院スポーツ科学研究科 伊藤研究室
太田 明李 ・ 伊藤 央二 ・ ソウ イ

2025年3月

